

第3回日野橋の在り方検討委員会 議事録

1 日時 令和6年11月19日 (火) 13時30分～15時

2 場所 鳥取県西部総合事務所3号館 会議室

3 出席者

委員：福山委員長、高増委員、浅井委員、三好委員、額委員、高野委員
俵委員、和田委員（欠席：中森委員、長尾委員）

事務局：伊達都市整備部長、山中道路整備課長、足立課長補佐、長田係長
植松係長
大塚文化振興課長、原文化振興官、中原専門官

4 日程

① 開会

② 議事事項

- ・前回委員会の質疑事項
- ・現地調査結果
- ・令和7年～令和8年修繕工事
- ・修繕工事後の在り方について
- ・市民アンケートについて
- ・その他

③ 閉会

5 議事概要

[前回委員会の質疑事項]

(委員) 米子市文化財保存活用地域計画において、日野橋の保存検討が記載されている。

計画を定めた当初から本委員会をもって日野橋の在り方に関する検討を行うことを予定していたのか。

(事務局) 日野橋の在り方に関しては、昔から議論がなされてきた。地域計画には、日野橋の在り方に関する検討が必要である旨を記載している。本委員会を計画作成当初から予定していたわけではないが、日野橋の在り方に関しては、現段階で具体に検討を進めるタイミングにあると考えている。今後、委員会の議論も踏まえ、市として検討を進めていきたいと考えている。

(委員) 委員会は3月末までの予定であると認識しているが、今年度以降は、委員会の内容を参考に別で検討を進めていくということか。

(事務局) 3月以降も委員会を継続して検討することも選択肢の一つと考えている。

(委員) 文化財としての検討をするのか、道路としての検討をするのかで費用の考え方も異なるため、議論が複雑になってしまっていると感じる。

(委員長) 文化的観点と道路交通的観点と 2 つの側面があり、一度に議論する機会は少ないといため、本委員会ではそれぞれで検討してきたことを組み合させて検討する場であると認識している。

(事務局) 本委員会では、両方の観点から議論いただきたい。

(委員) 昭和 18 年に発行された米子市の 15 周年史では、日野橋が新たに名勝として加わったという事が書かれているが、どのような歴史があるのか。そういう観点も含めて日野橋の在り方を検討いただきたい。

(事務局) 景観が評価されたと考えられるが、現在日野橋は名勝として指定はされていない。歴史については調査を行う。

(委員長) 名勝というのはどのような立ち位置なのか。

(事務局) 文化財のカテゴリーの 1 つである。簡単に言うと、渓谷など目で見て美しい景観に分類されるときに用いる。

(委員長) 日野橋は建造物になるのか。

(事務局) 建造物で国の登録有形文化財 17 件の中の 1 つである。

[現地調査結果]

(委員) 交通量調査について、新日野橋の利用者数の変化はないのに対し、日野橋では減少している理由は、整理されているか。

(事務局) 左岸側の公立高校は 1 クラス程度減っていることや、米子松陰高校では、寮の場所が変わっていることから、橋を渡る高校生が減ってきていると推測される。また、通学時の送迎が増加していることも要因の一つとして考えている。

(委員) 新日野橋はどのような方が利用しているのか。

(委員) 王子製紙（株）に勤務する方などが考えられる。

[令和 7 年～令和 8 年修繕工事]

(委員) PCB の除去費と補修工事費を合わせた金額が 13.5 億ということか。

(事務局) 現地の調査により、損傷が多かった上部トラス部の修繕と塗装の塗替え工事になる。

(委員) 当初は、PCB 除去に 20 億程度の費用がかかる。補修は、別ととらえていた。今の説明では、同時にやって 13.5 億と当初の説明と違ってきていると思うが。

(事務局) 現地調査の結果、一度塗替えすると相当年数は延命が可能となる。その工事に必要となる費用が 13.5 億程度となる。

(委員) 修繕工事に国庫補助は適用できるのか。

(事務局) 修繕工事には、補助率 55% の国庫補助金が適用される。

(委員長) PCB 除去工事は、どのような内容か

(事務局) PCB は塗料の中に含まれているため、それらを除去し、再塗装を行う工事であ

る。

(委員) 国からの補助金がどのくらい出るかも検討の中に入れていただきたい。道路、文化財両方の側面から補助金を確保できないか。

(事務局) 両方の補助金を併用することはできない。(補助率の高い) 国土交通省のインフラ整備の補助金を利用する。

(委員) 工事中は通行できるのか。

(事務局) まずは上部工の左右に足場および防護を行うため、一時的に通行不可となる可能性はあるが、施工中は通行可能と想定している。

[修繕工事後の在り方について]

(事務局) 欠席されている長尾委員からの意見は以下のとおりである。

- ・アンケートについて、今回は残したい。20年後に再度検討するという選択肢を加えてはどうか。
- ・存続させる場合の活用プランを提示した上でアンケートを採る必要があるのではないか。
- ・今回、このタイミングでアンケートを実施する必要性があるのか意見を聞いたい。

(委員) 維持する場合、今の段階で100年先を考える必要があるのか。なんとなく撤去した方がよいと答える人が増える可能性があるのではないか。

(事務局) 現在の日野橋の機能は歩行者・自転車道であり、ひび割れ等の損傷部が大きくなることが想定されない。今後定期点検と修繕を繰り返していくば、100年はもつだらうと想定し、計画を立てている。

(委員) 米子市の維持管理費2.2億とあったが、日野橋を維持していくば20年で14.4億かかるため、年間当たり別に0.72億が必要と考えてよいか。

(事務局) 毎年費用が掛かるわけではないが、その認識でよい。

(委員) 資料16頁の機能を維持する場合のグラフには違和感がある。補修工事費は13.5億とあるが撤去費を加えた41億が開始点になっている。アンケートにおいても誤解を招くおそれがある。

(事務局) いつの時代に日野橋の存廃を判断しても撤去費である28億円は必要ということをグラフに表現している。

(委員) 例えば100年日野橋の維持管理を行い、100年後にもう一度在り方の議論を行う場合は今のグラフの表現方法が適切かどうかは疑問である。

(委員) 今後、少子化が進行し利用者も少なくなると想定される中で、20年後にも議論が必要ではないか。とりあえず20年維持する工事を行い、20年後に改めて日野橋の在り方を検討する案もあっていいのではないか。

(委員) 道路の観点では、維持管理をして100年後だとしても、文化財の観点では、100年

以降も景観的に残すという考え方もあるのではないか。

(委員長) 道路としてではなく、文化財として残す考え方はあるのか。

(事務局) 存続させるとしても腐食等が発生するため、維持するための塗装塗替えは必要である。そのためある程度の費用は必要となる。

(委員) PCB の除去が必要なため、20 年維持するための工事を実施することは決定しているとの認識でよいか。

(事務局) 以前は PCB を除去するための最低限の補修を行うことで想定していたが、検討を進める中で補修を行えば 20 年は維持が可能であることがわかつてきた。

(委員) 今回修繕を行えば 5 年ごとに定期点検を行い、その都度小規模に修繕をし、損傷が大きくならないようにしていくならば、20 年後の議論はないのではないか。

(事務局) 塗替えの周期が約 20 年であり、20 年前にもこのような議論があったと聞いている。今回、とりあえず存続という結論になれば、20 年後の修繕の前にこのような議論をする必要があると考えている。

(委員) 資料 16 頁の表は撤去費用が 28 億円であり 100 年後も同額になると限らないため、わかりにくくい。

(事務局) 物価の変動等により今後工事費は変動すると考えられるが、現時点の算出額であり、金額のイメージを把握いただくための図として作成している。

[市民アンケートについて]

(委員) アンケートについて、維持管理費が高いと思うかどうか、撤去費用が高いと思うかどうか聞かれても答えにくくと考えられる。比較する物を明示するほうがよいのではないか。

(事務局) 金額を提示してもわかりづらいため、アンケート問 14 では新日野橋を比較対象に出し、維持管理費を比較できるように作成した。新日野橋の金額を目安にしていただければと考えている。

(委員) 新日野橋と比較する意味があるのか。日野橋は維持管理費が高いが文化財的価値があるため残した方がいいのか、維持管理費が高いため撤去した方がいいのかをはじめに答え、その理由を回答するようにしたらいいのではないか。

(委員) 例えば塗装費用など、項目ごとにどの程度費用がかかるかを示さないとわかりにくい。アンケート問 14 では設問が多く回答者として答えにくいため、選択肢を少なくすれば良いのではないか。

(委員) アンケート問 9 で唐突に国登録の文化財であることが書かれているが、回答者は理解しづらいため、文化的価値がある説明を追加する必要があるのではないか。

(事務局) 登録有形文化財とはどのようなものか説明する内容を追加する。

(委員) 他の文化に関しても維持費を示したらどうか。新日野橋との維持管理費の比較を出すと回答者に新日野橋の維持で十分との印象を与えるおそれがある。維持管理

費は新日野橋よりも高いが、文化財的な価値があるので残すといった可能性の説明が必要であると考える。公平な判断ができるような情報がないと回答が偏るおそれがある。

(委員) 日野橋に関する歴史や年表などの経緯を説明した上でアンケートを行う必要があると考える。

(委員長) アンケートは事務局が主催するものではなく、委員会として市民に意見を伺うものだと認識している。残す、残さないを問うのではなく米子市民が日野橋をどう思っているかを聞くものだと理解していた。アンケートは委員会が主催するものとしてよいか。また、アンケート内容について、日野橋に関する説明を行った上で存続、撤去に関する意見を聞くのか、どう思っているかを聞くだけに留めるのかの議論を行いたい。

(委員) 日野橋の在り方検討委員会として質問をするというのは重いのではないか。

(委員) 委員会からのアンケートとする必要があるのか。

(委員長) アンケートの内容は委員会の合意を得ていただきたいが、米子市からのアンケートということでよいか。

(事務局) 本委員会の資料として必要であるため、米子市からのアンケートということでよい。

(委員) 登録有形文化財の箇所は説明を追加した方が良い。

(委員長) 日野橋の現状に関する説明があったほうがよい。費用の見せ方として、何の費用なのか説明、位置づけ、概要を加えた方が良い。

(委員) 資料を最初に提示し、そのあとで設問に答えてもらうようにすべきと考える。

(事務局) アンケート問14については、市民の感覚を問いたいためクロス集計ができるよう選択肢を複数用意している。

(委員) アンケート問14以外の選択肢が少ないのでないのではないか。程度を聞く質問の場合は段階をそろえるべきと考える。

(委員) アンケート問14のグラフには日々の維持管理費が入っていないのではないか。

(事務局) 維持管理費は塗装、定期点検が主であり、グラフに反映されている。

(委員) アンケート問14は5つめと6つめの設問が矛盾している。

(委員長) 日野橋の維持管理費が大きいという先入観を与えかねないため、維持管理費の一覧など示せないか。

(委員) 補助金を見せた上で表現としたほうがいいのではないか。

(委員) 市の負担と国の負担であるため、全体の事業費だけでいいではないか。

(委員長) アンケートは複数案提示していただきたい。市の年間の橋りょうの維持管理費や維持管理費の一覧表、比較対象と考え方、年間平均額で示し20年での費用は不要ではないか。

(委員) 他県の橋梁の維持管理費が示せないか。

- (事務局) 交通量が違い、同条件の橋梁がないため、示すことは難しい。米子市民一人あたりの年間負担額等に置き換えて説明を加えるようとする。
- (事務局) 第3回委員会の内容を踏まえ、再度アンケートについて精査を行う。
- (委員長) 20年後の意思決定についても説明し始めると長いため、アンケートには不要と考える。アンケート調査票の修正版については、委員の確認を行うこと。
- (委員) アンケートはいつ頃配布するのか。
- (事務局) 12月に配布、集計を行うことで想定していたが、第3回委員会を受け、アンケート内容に関して調整の時間が必要である。

[その他]

- (委員) 鳥取県西部の小中学生の地域研究発表会で地元の小学生が「日野橋 昔今これから」というタイトルで発表するということを聞いている。
- (委員) 地元には11月に在り方検討委員会があり、その後に地元説明会があるという話をしている。アンケートは市民全体の話なので、地元説明会を開いてほしい。
- (事務局) 車尾地区、巖地区、春日地区では地元説明会を予定している。地元説明会に参加いただいた方にアンケートを記入してもらうことで考えている。今回の委員会のご意見を受け、アンケート内容を修正するために時間が必要である。
- (委員長) 市民アンケートと同じアンケートを使うが、地元のカテゴリーで意見を徴収するということか。
- (事務局) 同じアンケート用紙を使用することで考えている。説明会でアンケートを記入してもらうことで想定している。また、利用者の高校生にも意見を聞くことも考えている。
- (委員) 地元だけの結果も集計いただきたい。その場で書いて回収では考える時間少ないため、持ち帰って書いてもらう方が良いのではないか。やり方に関しては委員に相談いただきたい。

以上